



内部不正に対する現状レベル分析

不正の発生パターンに基づく体系的なアプローチ

現状レベル分析の必要性

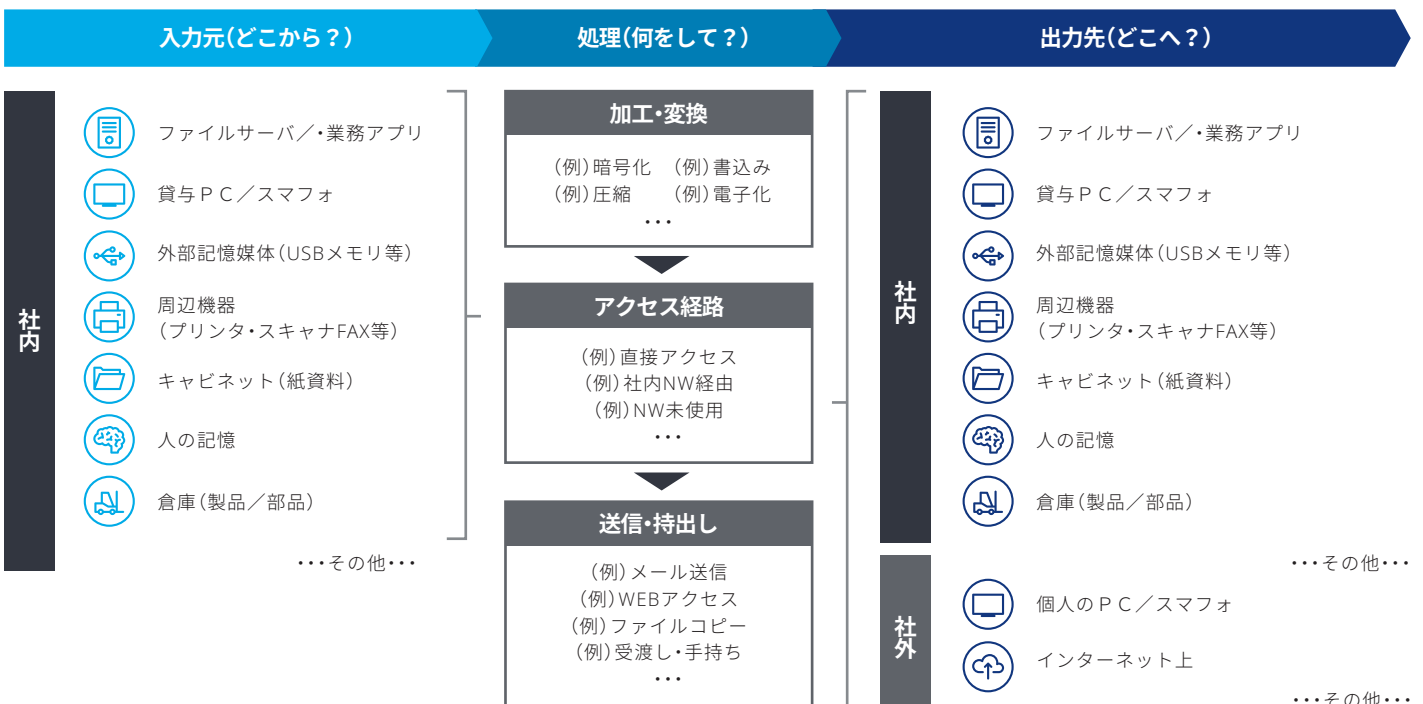
近年、社員や委託先社員等の内部者による機密情報の漏洩事件が多発しています。機密情報の漏洩が発生した場合、競争力・レピュテーションの低下や、顧客離れ、損害賠償責任を負う等、さまざまな代償を払うことを覚悟しなければなりません。

デロイト トーマツ グループは、グローバルレベルでの長年の経験に基づく独自の метод論を活用し、内部不正に対する現状レベルを分析し、実効性のある対策を提言します。

サービス概要

本サービスは、内部不正の発生パターンに基づく、体系的なアプローチにより、想定される不正行為への現状レベルを分析します。内部不正を構成する要素(実行者、対象資産、実行手段・処理等)に着目し、不正が行われる経路や方法を十分に理解したうえで、強化すべき領域や効果的な対策を提言します。

内部不正の発生に係る資産・処理

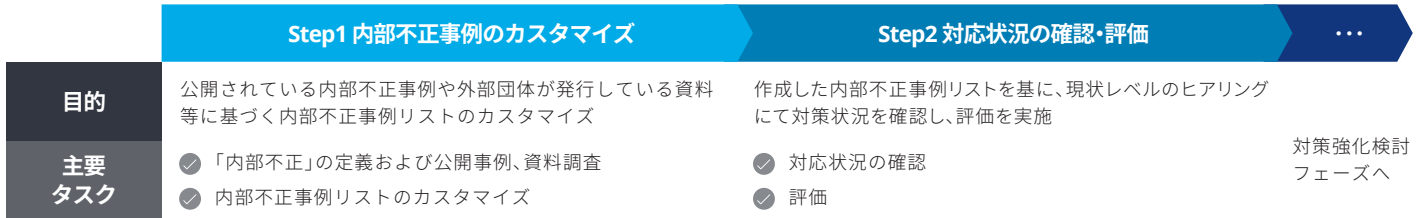


本サービスの流れ

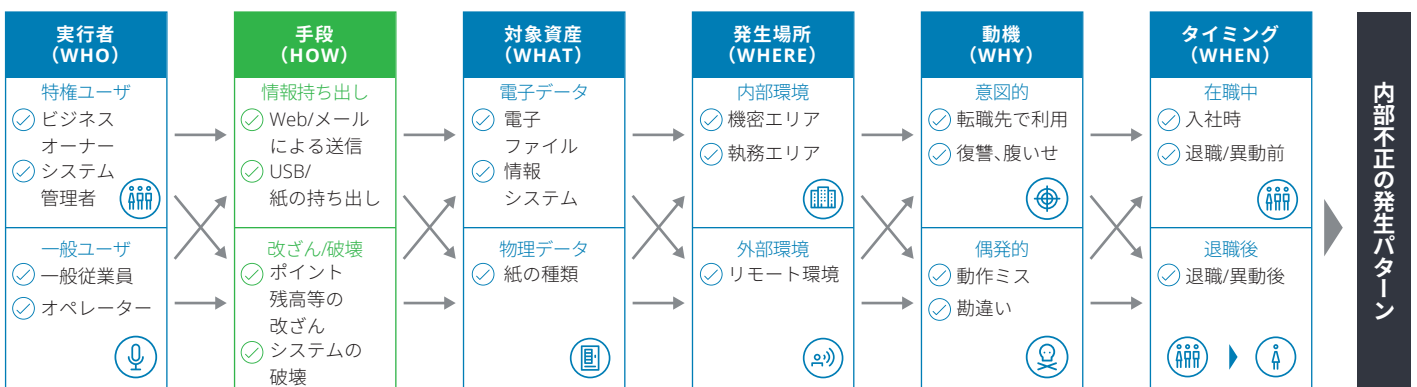
Step1では、我々が保有する内部不正事例リスト（公開事例やデロイトが保有する情報等を整理）を活用し、更にお客様の過去事例や想定を加味してリストをカスタマイズした上で、内部不正を構成する要素に着目して整理します。

Step2では、ヒアリングを実施して現状レベルを確認します。その結果に基づき、現状レベルを分析し、今後、対策を強化すべき領域や効果的な対策を提言します。

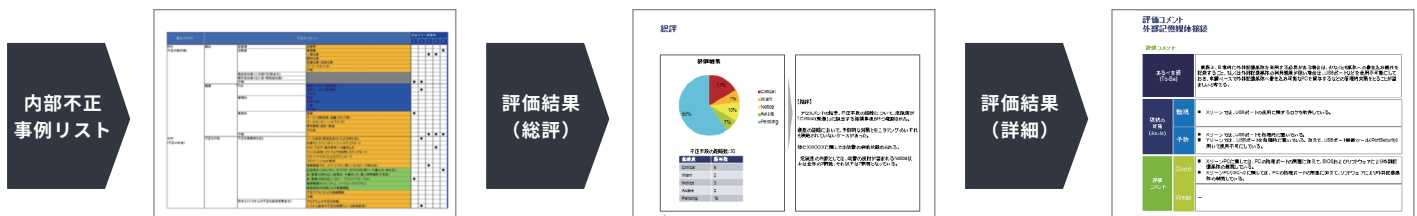
内部不正に対する現状レベル分析の流れ(イメージ)



内部不正の発生パターンと構成要素(イメージ)



主な成果物(イメージ)



デロイト トーマツ リスクサービス株式会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル Tel:03-6213-1300
名古屋 〒450-6337 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋 Tel:052-565-5950

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド (英国の法令に基づく保証有限責任会社) のメンバーファームおよびそのグループ法人 (有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人およびDT弁護士法人を含む) の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・税務・法務・コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザー 等を提供しています。また、国内約40都市に約8,700名の専門家 (公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど) を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト (www.deloitte.com/jp) をご覧ください。

Deloitte (デロイト) は、監査、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザー サービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを Fortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約225,000名の専門家については、Facebook、LinkedIn、Twitter もご覧ください。

Deloitte (デロイト) とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド (“DTL”) ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTL (または “Deloitte Global”) はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited